



令和5年度 定期総会資料

福岡県半導体・デジタル産業振興会議

Fukuoka Prefectural Semiconductor & Digital Industry Development Council



第1号議案 役員選任(案)

第2号議案 令和4年度事業報告

第3号議案 令和5年度事業計画(案)

第1号議案 役員選任(案)

福岡県半導体・デジタル産業振興会議規約第8条第2項に基づき、役員を選任を諮るもの。

役員名	氏名	企業・団体名	役職	新・留
会長	津田 純嗣	(株)安川電機	特別顧問	留任
副会長	谷口 倫一郎	九州大学	理事・副学長	留任
副会長	中藤 良久	九州工業大学	理事・副学長	留任
副会長	高西 淳夫	早稲田大学	教授	留任
監事	永吉 豊	(株)久留米リサーチ・パーク	常務取締役	新任
監事	間野 彰彦	(公財)飯塚研究開発機構	専務理事	留任

第2号議案 令和4年度事業報告

福岡県半導体・デジタル産業振興会議の構成

【会長】 **YASKAWA** 安川電機

特別顧問 津田 純嗣

【顧問】 文部科学省科学技術・学術政策局長

九州経済産業局長

福岡県知事、北九州市長、福岡市長



津田会長



服部福岡県知事



武内北九州市長



高島福岡市長

【設立】 令和4年6月2日

【会員数】 1,069会員(令和5年4月現在)

振興会議の目的に賛同する企業、

大学、行政、個人

※福岡県ロボット・システム産業振興会議からの引継ぎ

全国トップクラス
1069の産学官の会員
プラットフォーム



半導体産業(グリーンデバイス)の振興

- カーボンニュートラル時代の製造業を支える半導体デバイスである「グリーンデバイス」の一大開発・生産拠点の構築を目指す

【グリーンデバイス】

省エネルギーに直結するパワー半導体および関連製品、低消費電力化(高速処理・効率処理)を実現する各種半導体および関連製品 など



デジタル産業の振興

- ロボット、IoT、デジタル化システムや宇宙ビジネスを振興し、新たなニーズに対応した新産業の創出を目指す



ロボット



IoT



宇宙ビジネス

半導体産業 (グリーンデバイス)

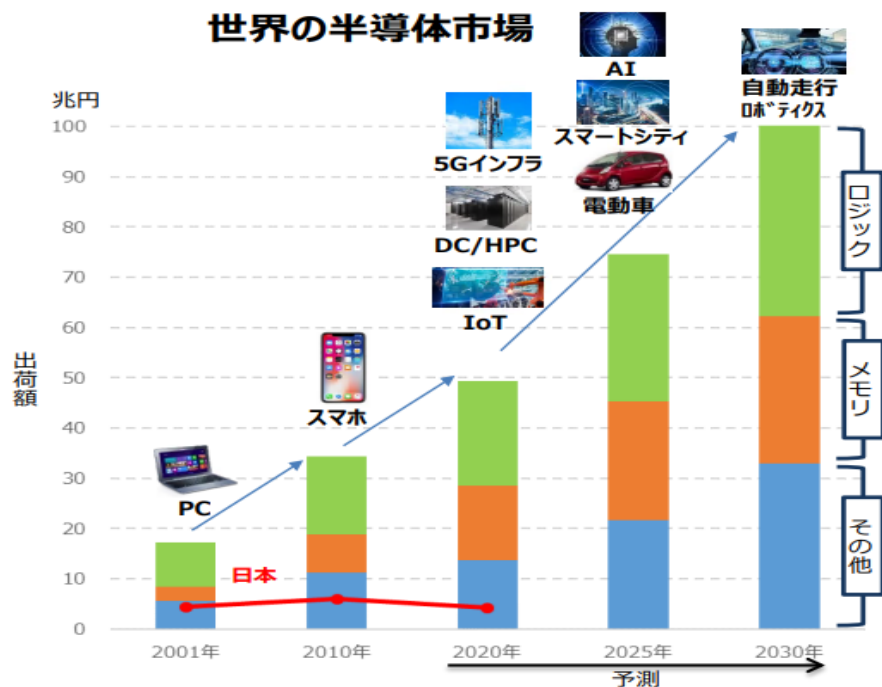
半導体市場の成長性

■ 半導体をめぐる動向

- ・ デジタル化社会の進展及びコロナ禍による影響に伴い、世界的に半導体が不足
- ・ 国は、デジタル社会を支える重要基盤・安全保障に直結する重要な戦略技術として、半導体の国内産業基盤の強靱化を強力に推進
- ・ こうした中、TSMCの熊本進出が決定するとともに、九州内で半導体推進組織が発足するなどシリコンアイランド九州の存在感が再び高まっており、大きなチャンスが到来

■ 世界の半導体市場

- ・ 今後10年間で現在の2倍以上となる100兆円規模にまで成長する見込み

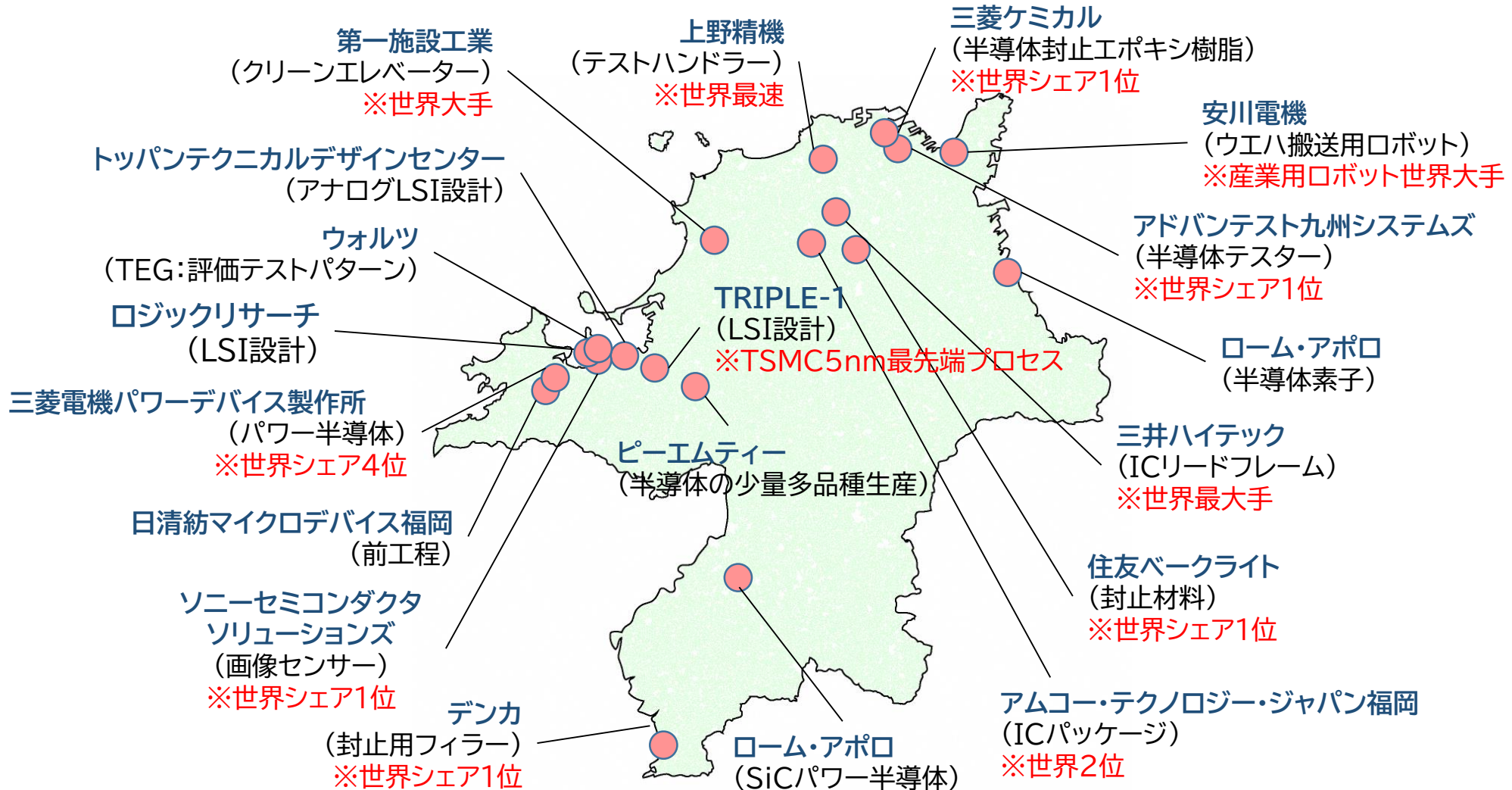


	市場規模 2018年	製品例
ロジック (制御用)	21兆円	プロセッサ
		GPU
		SoC
メモリ (データ記憶用)	18兆円	DRAM
		NAND
パワー半導体 ほか	15兆円	アナログLSI
		パワー半導体
		イメージセンサ

(引用)経済産業省作成資料

福岡県のポテンシャル①

- 本県における半導体関連企業は、約400社。
- 電力・電圧の制御に使われる「パワー半導体」や、IoT社会を支える「画像センサー」半導体製造を支える「産業用ロボット」など、世界トップレベルの関連企業が立地。



福岡県のポテンシャル②

- 半導体分野に強みを持つ研究開発支援施設が多数立地。
- 多くの理工系大学や高専、工業高校があり、高度人材を数多く育成。



半導体産業の取組体系

I デバイス関連企業を呼び込むためのプロジェクト

- ① 半導体安定供給技術開発・実証支援事業
- ② ふくおかIST「三次元半導体研究センター」による試作開発等の支援

II 地元半導体企業のサプライチェーンの強化

- ① グリーンデバイス関連製品開発支援事業
- ② グリーンデバイスに関する設備投資支援
- ③ 半導体アドバイザリーボードの設置
- ④ 大型展示会への出展支援

III 半導体人材の育成・確保

- ① ふくおかIST「システム開発技術カレッジ」による人材育成
- ② 県立工業高校における若手人材育成
- ③ 県内半導体関連企業プロモーションツアー

IV デバイス関連企業誘致の強化

- ① 企業誘致の促進
- ② 新たな産業団地の整備

I デバイス関連企業を呼び込むためのプロジェクト

① 半導体安定供給技術開発・実証支援事業

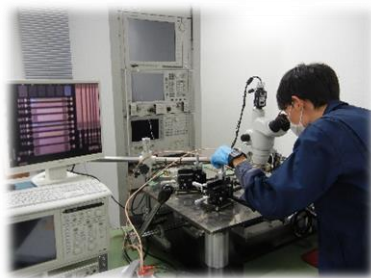
- 国内既存工場を有効に活用した必要な半導体の国内安定供給に資する革新的技術開発を支援

〔補助上限〕1,000万円 〔補助率〕1/2

採択テーマの概要	採択企業
半導体のジャストインタイム生産を実現する国内既存工場を活用した半導体製造技術(LDIC)の開発	(株)ロジック・リサーチ

② ふくおかIST「三次元半導体研究センター」による試作開発等の支援

- 半導体の実装分野で設計から試作開発、試験評価まで一貫して支援する国内唯一の公的機関
- 半導体の三次元実装をターゲットに高度な研究開発環境を提供



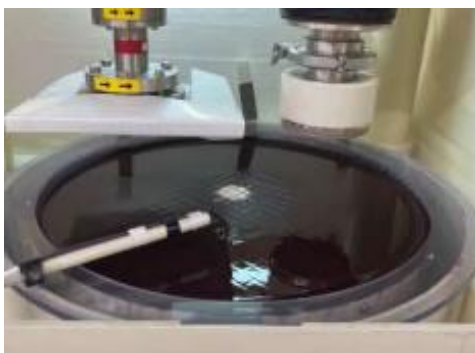
II 地元半導体企業のサプライチェーンの強化

① グリーンデバイス関連製品開発支援事業

■ 県内企業のグリーンデバイスに関する新製品開発等に対する助成(補助率1/2)

[補助上限] (1)可能性試験: 200万円、(2)製品開発への支援: 500万円、(3)大型製造設備試作開発: 1,000万円

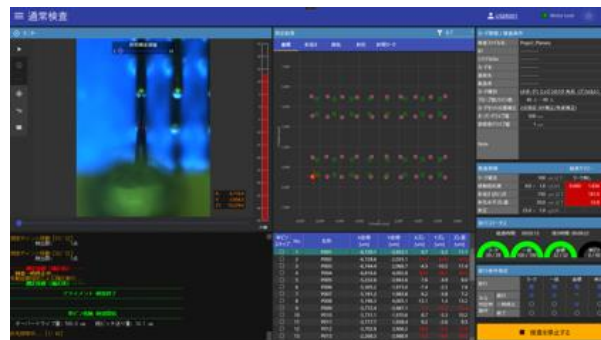
採択テーマの概要	採択企業	分類
小型化・省電力化を実現する、LSI化した電力線通信(PLC)通信機器の開発	(株)シキノハイテック	(1)
半導体製造プロセスで製造可能なワンチップ化不揮発メモリの開発	(株)NSCore	(2)
SiCウエハの短時間研磨や平滑研磨を実現する高性能研磨剤の開発	三井金属鉱業(株)	(2)
半導体の最先端配線パッケージ量産化技術の開発	(株)ピーエムティー	(2)
AIによる針先自動検出機能を有する、パワーデバイス用ウエハ検査装置の開発	九州エレクトロン(株)	(2)
小型化・省電力化を実現する、電気自動車向け銅クリップ配線型パワー半導体の開発	ローム・アポロ(株)	(3)



▲SiCウエハ研磨剤(三井金属鉱業(株))



▲ウエハ検査装置(九州エレクトロン(株))



II 地元半導体企業のサプライチェーンの強化

② グリーンデバイスに関する設備投資支援

- 特区指定法人と直接取引する県内中小企業の設備投資に対する補助 (※振興会議予算とは別予算にて実施)



▲特区を活用した新工場
(ローム・アポロ株)

③ 半導体アドバイザリーボードの設置

- 業界動向に精通した有識者を招聘し、県内企業のビジネスマッチングを支援。
 - ・ 岡野 秀之 氏 (九州経済調査協会 事業開発部長) ほか数名

④ 大型展示会への出展支援

イベント名	開催期間	場 所
セミコンジャパン2022	令和4年12月14日～16日	東京ビッグサイト

(※支援企業数:6社)



▲セミコンジャパン2022

Ⅲ 半導体人材の育成・確保

① ふくおかIST「システム開発技術カレッジ」による人材育成

- ふくおかIST「システム開発技術カレッジ」において半導体等に関する講座を提供し、エンジニアを育成
 - 〔入門講座〕電気回路入門、トランジスタの基礎など
 - 〔実践講座〕LSIの設計・製造工程、パワーエレクトロニクスなど



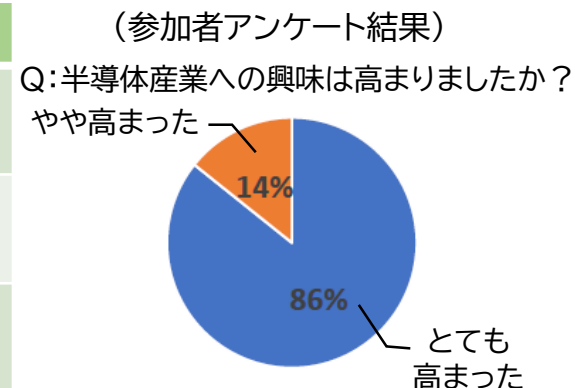
② 県立工業高校における若手人材育成

- 県立工業高校において、半導体関連企業で活躍できる人材を育成するため半導体製造技術に関する実習環境を整備

③ 県内半導体関連企業プロモーションツアー

- 大学生/高専生、教員を対象とした、福岡県内の半導体関連企業訪問ツアーを開催
 - 1. 企業概要説明、 2. 工場等の施設見学 3. 企業担当者と参加者との意見交換を実施

日程	訪問企業	参加者数
令和5年2月20日	三菱電機(株)パワーデバイス製作所、 日本ファインテック(株)、上野精機(株)	5名
令和5年2月28日	ローム・アポロ(株) 筑後工場、 タキロンポリマー(株)、メルコパワーデバイス(株)	5名
令和5年3月15日	(株)中島ターレット、 (株)アドバンテスト九州システムズ	6名



IV 半導体企業の誘致

① 企業誘致の促進

- グリーンアジア国際戦略総合特区を活用した税制優遇や企業立地促進交付金の交付率上乘せ等を実施

(※振興会議予算とは別予算にて実施)

- 企業立地促進交付金に半導体製造関連の特例枠を設け、交付率及び交付限度額の上限を引き上げ

(※振興会議予算とは別予算にて実施)



▲特区を活用した新工場
(昭栄化学工業株)

② 新たな産業団地の整備

- 5年間で約100haの新たな産業団地の整備に着手

(※振興会議予算とは別予算にて実施)



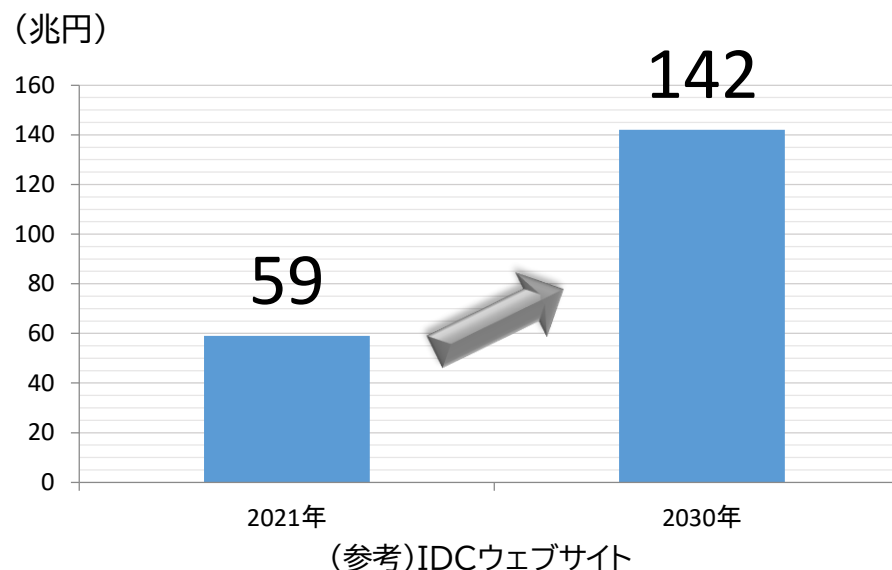
▲新松山臨海工業団地(荻田町)

デジタル産業

デジタル化関連市場の成長性

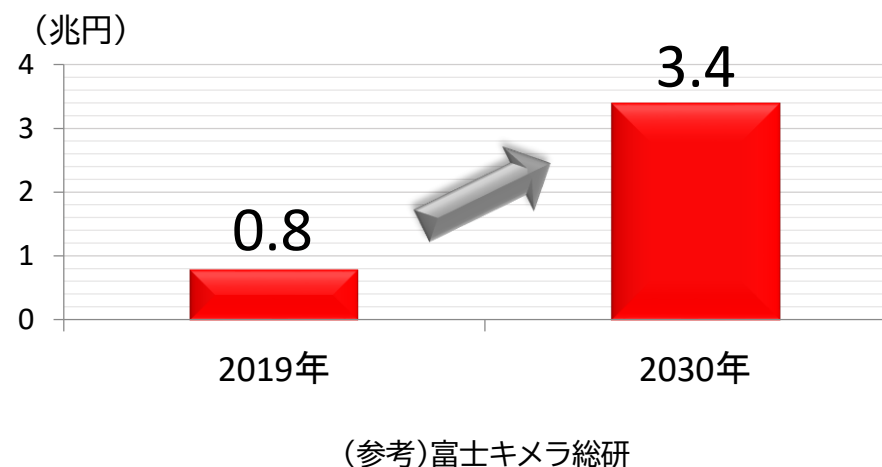
○ 世界の市場予測

- 世界のデジタル化関連市場は、2021年に約59兆円の規模
- 今後、2030年には、約142兆円の規模に成長すると予測



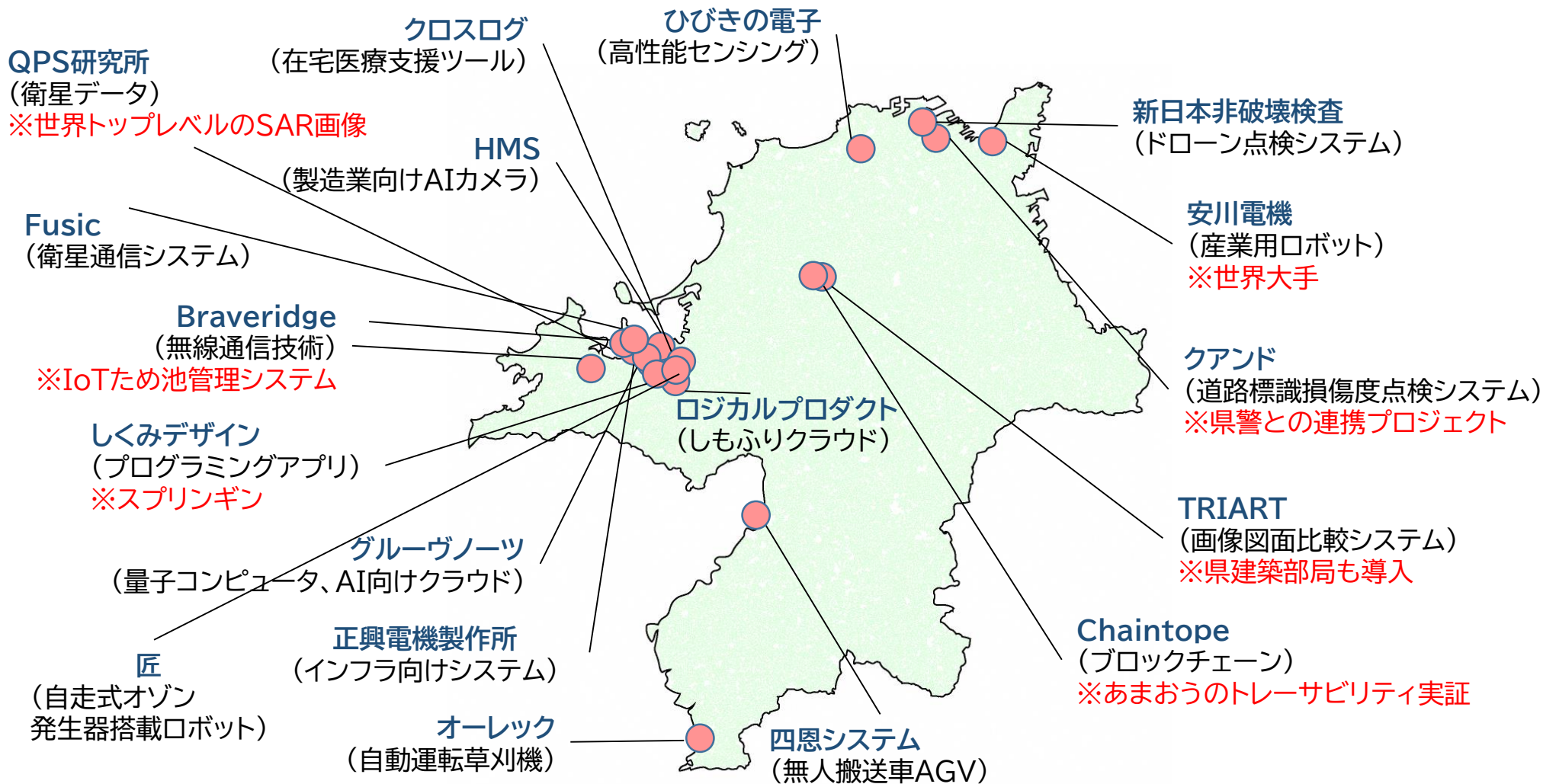
○ 国内の市場予測

- 国内のデジタル化関連市場は、2019年に約0.8兆円の規模
- 今後、2030年までに約3.4兆円の規模に成長すると予測



福岡県のポテンシャル

■ これまでの産業振興により、IoT・AI・ロボット等のSociety5.0を支える基盤技術をはじめ、衛星データ、ブロックチェーンなど、注目のデジタル技術に強みを待つ優れた企業が集積。



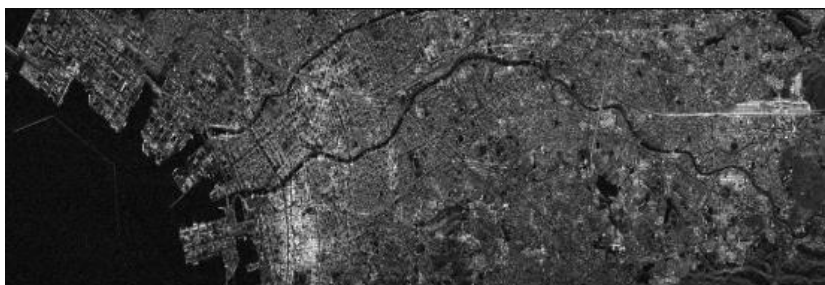
宇宙ビジネスにおける本県のポテンシャル

■ QPSの小型SAR衛星プロジェクト

- ①小型・低コスト
- ②天候・昼夜不問
- ③高解像度



- 県内中小企業17社を中心に開発
- 衛星制御には本県発のプログラミング言語「軽量Ruby」を採用



▲2機打ち上げて分解能70cmの画像取得にも成功

最終的には36機を打ち上げ、
10分以内に観測可能な
「準リアルタイムマップ」の実現を目指す

■ 産・学の集積

産



▲福岡県を中心に集積する宇宙企業クラスター

学

九州大学

宇宙工学の知と人材の拠点

QPS研究所を輩出

九州工業大学(宇宙環境技術ラボラトリー)

国内唯一 耐宇宙環境技術の研究開発拠点

久留米工業大学

「航空宇宙実習棟」を有するモビリティ研究機関

⇒ 産・学・官の連携により、宇宙ビジネス参入とビジネス創出を加速

デジタル産業の取組体系

I 啓発・参入促進

- ① 福岡県半導体・デジタル産業振興会議 設立記念「総会、講演会」の開催
- ② 福岡県宇宙ビジネスフォーラム(ISTS開催1年前キックオフイベント)の開催

II 新製品・サービスの創出

- ① ニーズの掘り起こし、マッチング
- ② 製品開発支援(ロボット・デジタル化、宇宙関連機器)
- ③ 県内宇宙ビジネス関連企業の出張技術提案会の実施
- ④ 衛星データ利活用オープンイノベーションミーティングの開催
- ⑤ 宇宙食開発ワークショップの開催

III 普及・展開

- ① 大型展示会(Japan Robot Week、Japan IT Week 秋)への出展支援
- ② 福岡県IoT認定制度によるビジネス展開支援

IV 人材育成

- ① ふくおかIST「システム開発技術カレッジ」による人材育成

V インキュベーション支援

- ① インキュベーションルームの提供

I 啓発・参入促進

- ① 福岡県半導体・デジタル産業振興会議 設立記念「総会、講演会」の開催
【開催日：令和4年6月2日】

○ 基調講演 1

「半導体・デジタル産業の将来展望」

国立研究開発法人産業技術総合研究所
つくばセンター所長 金丸 正剛 氏



○ 基調講演 2

「半導体100兆円市場が切り開く福岡の発展」

(株)産業タイムズ社
代表取締役会長 泉谷 渉 氏



○ 特別講演

「次世代パワー半導体をもたらすグリーン・デジタル化社会」

名古屋大学
教授 天野 浩 氏



○ 取組紹介

「データドリブンによる自律分散型のモノづくり実現に向けたロボット開発」

株式会社安川電機 理事 技術開発本部
アグリメカトロニクス開発部長 松浦 英典 氏

YASKAWA

I 啓発・参入促進(宇宙ビジネス)

② 福岡県宇宙ビジネスフォーラムの開催

【開催日：令和4年9月3日(土)～4日(日)】

- 宇宙ビジネスの認知度向上及び参入促進のため企業や学生等を対象とした参入啓発イベントを開催。
- はやぶさ2ミッションに関する講演会や、月面ビジネスが切り拓く未来に関するトークショーなどを開催。



▲盛会となった宇宙ビジネスフォーラム

【トピックス】ISTSキックオフイベントの開催

- 令和5年6月に開催されるISTSのキックオフイベントを令和4年9月3, 4日に久留米市(久留米シティプラザ)において開催。
- 2日間で約4,500人以上が来場、会場は大盛況に QPS研究所の人工衛星モデル機、県内の宇宙に関する産学官の取組を紹介する展示をはじめ、宇宙服の試着体験など親子向けの体験コーナーも設置。



▲福岡宇宙展ではQPS-SAR衛星などを展示



▲ウルトラライトプレーニング操縦体験

II 新製品・サービスの創出

① ニーズの掘り起こし、マッチング

○ 福岡県デジタルプロジェクト推進会議の開催

- 副知事をトップに、すべての知事部局、教育庁、警察本部からなる庁内組織を設置し、行政ニーズや課題を掘り起こす。

【令和4年度の実施テーマ】

- IoTを活用した課題解決
- デジタル技術、衛星データを活用した課題解決



▲会議の様子

○ 課題解決ワークショップの開催

- プロジェクト推進会議で掘り起こした行政課題・ニーズについて担当部局、専門家、インテグレーター企業等を交えた課題解決ワークショップを開催。
- 課題の整理、技術的な実現可能性を議論し、プロジェクト化を目指す。

【令和4年度の実施テーマ】

- 土木インフラ管理・整備のデジタル化
- ため池等の管理のデジタル化
- 野生鳥獣の生息調査のデジタル化



▲ワークショップの様子

II 新製品・サービスの創出

② 製品開発支援

○ ロボット・デジタル化関連製品開発支援事業

- 現場ニーズを捉えた、ロボットやデジタル化ツールに関連する県内企業の製品開発・実証を支援。
可能性試験(FS):補助上限300万円(補助率1/2)、製品開発への支援:補助上限700万円(補助率1/2)

採択テーマの概要	採択企業	分類
あまおうの自動収穫ロボットの開発	(株)アイナックシステム	製品開発
廃棄ガラス瓶の色別自動分別システムの開発	フォースウェーブ・パートナーズ(株)	製品開発
生産条件や不良品数をモニタリングするデジタルシステムの開発	(株)戸畑ターレット工作所	製品開発
熟練者の技術を学習した装置メンテナンス時期判定システムの開発	(株)ロジカルプロダクト	製品開発
自動搬送車の運行管理システムの開発	四恩システム(株)	製品開発
在宅医療専用スケジュール管理システムの開発	クロスログ(株)	製品開発
歩行者や軽車両の検知も可能な踏切障害物検知システムの開発	Future Trek(株)	可能性試験



▲あまおう自動収穫ロボット((株)アイナックシステム)



▲ガラス瓶自動分別システム(フォースウェーブ・パートナーズ(株))



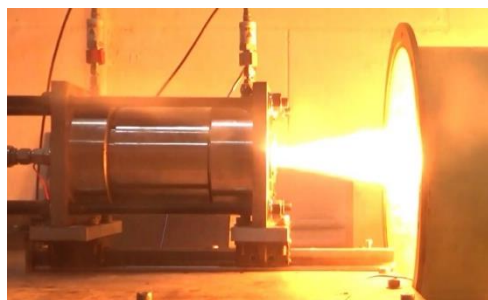
II 新製品・サービスの創出(宇宙ビジネス)

○ 宇宙関連機器研究開発支援事業

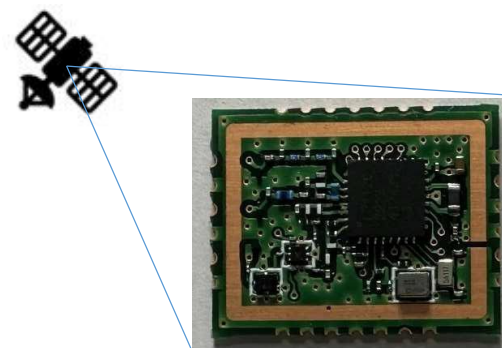
- 県内企業が行うロケット、人工衛星等の宇宙関連機器に係る研究開発に対する経費を助成。

〔補助上限〕1,000万円 〔補助率〕1/2

採択テーマ	採択企業	共同研究機関
福岡県産宇宙輸送サービスを目指した高性能ハイブリッドロケットエンジンと小型観測ロケット開発	(株)睦美化成	福岡大学
遠隔再構成可能な宇宙機向け高信頼ソフトウェア無線システムの研究開発	(株)レイドリクス	九州工業大学
小型低軌道衛星を使った衛星IoT通信に対応した衛星IoT通信モジュールの開発	(株)Braveridge	九州大学



▲ハイブリッドロケットエンジンの燃焼試験
(株)睦美化成、福岡大学



▲衛星IoT通信モジュール
(株) Braveridge

II 新製品・サービスの創出(宇宙ビジネス)

③ 県内宇宙ビジネス関連企業の出張技術提案会の実施

- 国内宇宙ベンチャー企業等へ産学官のミッション団を派遣し、県内ものづくり企業等が自社の製品・技術力を直接PR。



▲出張技術提案会の様子

④ 衛星データ利活用オープンイノベーションミーティングの開催

- 普及啓発に関するイベントや、衛星データ利活用ビジネスに必要な知識を学ぶ勉強会等を開催。



▲衛星データ利活用オープンイノベーションミーティングの様子

⑤ 宇宙食開発ワークショップの開催

- 福岡発の宇宙食認証に向け県内食品関連企業等を対象としたワークショップを開催。



▲宇宙食開発ワークショップの様子

Ⅲ 普及・展開

① 大型展示会への出展

- 会員企業が開発したデジタル関連製品を国内最大級の展示会へ出展することで、新たなビジネス展開を支援。



イベント名	開催期間	場 所	支援企業数
Japan Robot Week 2022	令和4年10月19日～21日	東京ビッグサイト	1社
Japan IT Week 秋 「IoT&5Gソリューション展」	令和4年10月26日～28日	幕張メッセ	3社

② 福岡県IoT認定制度

- 県内企業が開発した優れたIoT関連製品・サービスを認定“県のお墨付き”を与えることで、ビジネス展開を支援
- 令和5年3月末現在で、累計43社71製品を認定

認定ロゴマーク



福岡県IoT認定製品

(令和4年度の主な認定製品)



【非接触型 手のひら静脈認証付きカードリーダー】
正興ITソリューション(株)



【バルブ用後付け自動化機器 バルブオートマイザー®】
(株)オートマイズ・ラボ

IV 人材育成

① 「システム開発技術カレッジ」による人材育成

- 企業向け出張講座や一般向け公開講座の実施により、システム開発人材を育成。
- 基盤技術、システム要素、システム構築の3分野で実施しているほか、企業ニーズが高まってきている技術分野の講座を新規に開発、実施。
(URL: <https://ist-college.org/>)
- 令和4年からはオンデマンド型で受講可能な「オンラインカレッジ」を整備



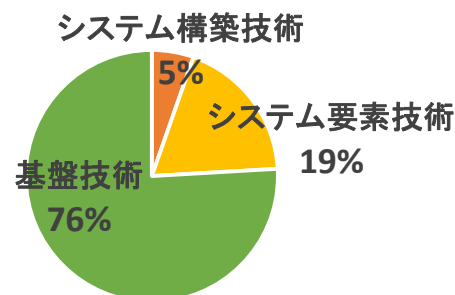
▲オンライン講座の様子

システム開発技術カレッジの主な講座	分野
電気回路入門・電気回路とトランジスタの基礎	基盤技術
画像パターン認識・マシンビジョンの基礎	システム要素
モデリング手法と統一モデリング言語UML	システム構築

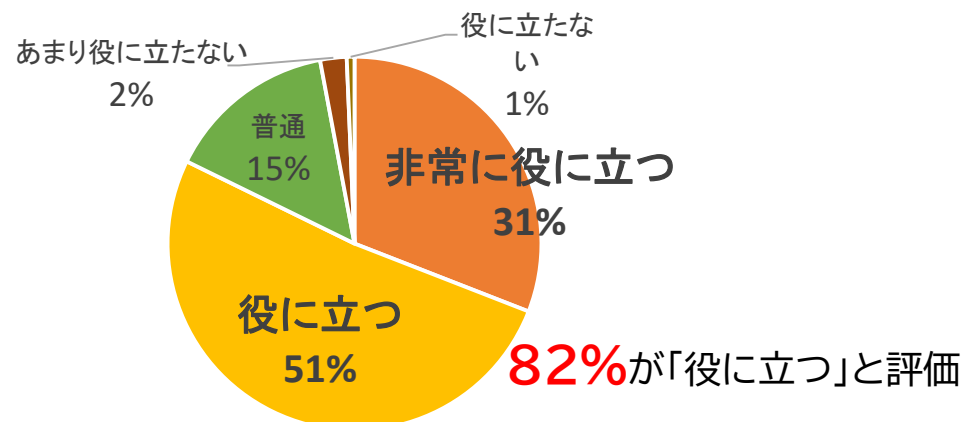
令和4年度 受講者数 **1,549**人

平成13年度の開講以来、**23,218**名の人材を育成

(分野別受講割合)



(令和4年度 受講者アンケート結果)



V インキュベーション支援

① インキュベーションルームの提供

- ベンチャー企業のスタートアップ、進出企業の受け皿、産学官連携共同研究の場として、インキュベーションルームや研究開発ラボ室等を提供

産業技術イノベーションセンター ※ (福岡市早良区)

- ・インキュベーションルーム(全53室)
- ・シェアードオフィス(全23ブース)



社会システム実証センター (糸島市)

- ・共同開発ラボ室(全23室)
- ・シェアードオフィス(全7ブース)



三次元半導体研究センター (糸島市)

- ・インキュベーションルーム(全3室)



※令和5年4月1日「ロボット・システム開発センター」から「産業技術イノベーションセンター」に名称変更

第3号議案 令和5年度事業計画(案)

半導体産業 (グリーンデバイス)

半導体産業の取組体系

I デバイス関連企業を呼び込むためのプロジェクト

(赤字:令和5年度からの新たな取り組み)

- ① 半導体アドバイザーリーボードの設置
- ② ふくおかIST「三次元半導体研究センター」による試作開発等の支援 等

II 地元半導体企業のサプライチェーンの強化

- ① 半導体取引拡大アドバイザーの設置
- ② 国内外の大手企業への出張技術提案会の開催
- ③ 国内外の大型展示会への出展支援
- ④ グリーンデバイス関連製品開発支援事業 等
- ⑤ 講演会・交流会(福岡半導体リスキリングセンター設立記念イベント)の開催

III 半導体人材の育成・確保

- ① 福岡半導体リスキリングセンター(仮称)の創設
- ② 「テクノロジー人材創生塾」の開催
- ③ オープンカンパニーツアーやインターンシップ、オンライン面談会の開催 等

IV デバイス関連企業誘致の強化

- ① グリーンアジア国際戦略総合特区による税制優遇
- ② 福岡県企業立地促進交付金による設備投資等に対する支援
- ③ 新たな産業団地の整備 等

次頁以降に、新たな取り組み内容を記載

II 地元半導体企業のサプライチェーンの強化

- TSMC熊本進出やシリコンアイランド九州の復活を大きなチャンスと捉え、県内の半導体関連企業の取引拡大や製品開発等を支援し、更なる成長と集積を図る。

新たな取り組み

①半導体取引拡大アドバイザーの設置

- ・ 地元企業の競争力向上を図るため、県内外企業とのマッチングや技術力向上等を支援するアドバイザーを設置。

②国内外の大手企業への出張技術提案会の開催

- ・ 国内外の大手企業を訪問し、県内企業の製品、サービス、技術等を直接PR。

③国内外の大型展示会への出展支援

- ・ 県内半導体関連企業の販路拡大を図るため、国内外の大型展示会への出展を支援。

イベント名	開催期間	場 所
セミコン台湾2023	令和5年9月6日～9日	台北市
セミコンジャパン2023	令和5年12月13日～15日	東京ビッグサイト

II 地元半導体企業のサプライチェーンの強化

⑤ 講演会・交流会の開催(福岡半導体リスティングセンター キックオフ・フォーラム)

- 日 時 : 令和5年8月23日(水) 13:30~
- 場 所 : ホテルニューオータニ博多 4階 鶴の間

○ 基調講演

「これからの半導体人材の育成」

東京大学大学院工学系研究科 教授

福岡半導体リスティングセンター長 黒田 忠広 氏



○ パネルディスカッション

「これからの半導体産業と福岡県のポテンシャル」



東京大学 教授
福岡半導体
リスティングセンター長
黒田 忠広 氏



Rapidus(株)
代表取締役社長
小池 淳義 氏



経済産業省
商務情報政策局
情報産業課長
金指 壽 氏



九州大学 教授
福岡半導体リスティング
センター 副センター長
井上 弘士 氏



モデレーター
毎日新聞社論説委員
元村 有希子 氏

Ⅲ 半導体人材の育成・確保

- 人材育成機能の大幅な強化と学生に対する半導体産業への興味関心の喚起や就職を促進する取り組みを実施し、将来の半導体産業を担う人材を創出する。

新たな取り組み

令和5年度から県の商工部内に「**技術人材育成室**」を設置し、半導体産業等の人材育成・確保を強力に推進。

①福岡半導体リスキリングセンター(仮称)の創設 (※振興会議予算とは別予算にて実施)

- ・ 半導体人材の育成を強力に推進していくため、「**福岡半導体リスキリングセンター(仮称)**」を創設。
- ・ 半導体分野やデジタル産業分野などの重要技術に精通した人材を育成。
(県内中小企業は無償で受講可能)



Ⅲ 半導体人材の育成・確保

新たな取り組み

②「テクノロジー人材創生塾」の開催

(※振興会議予算とは別予算にて実施)

- ・ 中高生を対象に半導体関連企業等の技術や将来性を学ぶ「テクノロジー人材創生塾」を開催し、技術者を目指す人材を創出。

③オープンカンパニーツアーの開催

(※振興会議予算とは別予算にて実施)

- ・ 理工系大学生等を対象に半導体関連企業等を見学・体験するオープンカンパニーツアーを開催し、企業への就職を促進。



デジタル産業

デジタル産業の取組体系

(赤字: 令和5年度からの新たな取り組み)

I 啓発・参入促進

- ① 福岡県宇宙ビジネスフォーラムの開催(宇宙工学等の国際会議ISTSの開催)

II 新製品・サービスの創出

- ① 製品開発支援(宇宙関連機器、衛星データ利活用、宇宙日本食開発)
- ② 県内宇宙ビジネス関連企業の出張技術提案会の実施
- ③ 宇宙食開発ワークショップの開催
- ④ 宇宙日本食開発・認証アドバイザーの設置

III 普及・展開

- ① 大型展示会(国際ロボット展、Japan IT Week 秋)への出展
- ② 福岡県IoT認定制度によるビジネス展開支援

IV 人材育成

- ① 「福岡半導体リスキリングセンター(仮称)」の創設による人材育成(再掲)

V インキュベーション支援

- ① インキュベーションルームの提供

次頁以降に、新たな取り組みを中心に計画や内容を記載

I 啓発・参入促進(宇宙ビジネス)

② 福岡県宇宙ビジネスフォーラムの開催

- 宇宙ビジネスの認知度向上及び参入促進のため企業や学生等を対象とした参入啓発イベントを令和5年6月4日(日)に開催。



▲宇宙ビジネスフォーラム

【トピックス】宇宙工学等の国際会議ISTSの開催

- 世界各国から約1,000名の研究者等が集う国内最大の宇宙国際会議第34回宇宙技術および科学の国際シンポジウム(ISTS)を開催。
- 開幕直前の「1. 地元開幕イベント」の他、学会開会の期間中は、「2. レセプション」、「3. エクスカーション」、「4. 宇宙展示会」などを開催。



▲福岡宇宙展(QPS-SAR衛星等を展示)



▲月面探査車用タイヤ開発テスト車両(ブリヂストン)の試乗

日時： 令和5年6月3日(土)～9日(金)
3日～4日:地元開幕イベント
5日～9日:学会

場所： 久留米シティプラザ等



提供:JAXA/GCTC
JAXA宇宙飛行士
金井 宣茂 氏



インターステラテクノロジズ(株)
FOUNDER
堀江 貴文 氏



タレント
中島 浩二 氏

▲地元開幕イベントの主な登壇者

Ⅱ 新製品・サービスの創出(宇宙ビジネス)

新たな取り組み

① 製品開発支援

○ 衛星データを活用した革新的サービス開発支援事業

- 衛星データ利用ビジネスを牽引する成功事例の創出を促進するため、
県内IT企業による衛星データを活用した革新的サービス開発に係る費用を助成。
〔補助上限〕1,000万円 〔補助率〕1/2 (1件)

○ 宇宙日本食開発支援事業

- 宇宙日本食開発に係る費用や、宇宙日本食認証に必要な検査試験費用を助成。
〔補助上限〕300万円 〔補助率〕1/2 (3件程度)

④ 宇宙日本食開発・認証アドバイザーの設置

- 専門家を県内食品関連企業に派遣。
煩雑な宇宙日本食認証に係る助言を行う。



福岡の食文化が宇宙へ！

県内企業の宇宙日本食への参入に向けた取組を強力に支援し、九州初の認証取得を目指す。

Ⅲ 普及・展開

① 大型展示会への出展

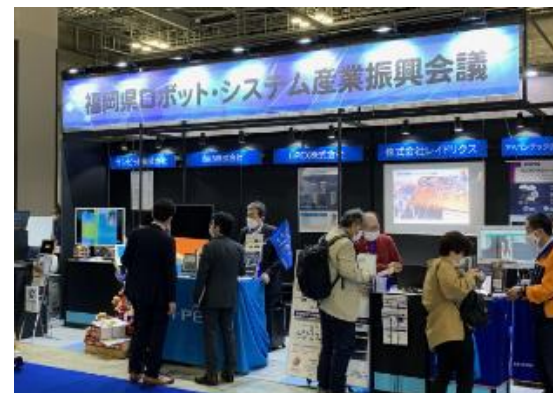
- 会員企業が開発したデジタル関連製品を国内最大級の展示会へ出展することで、新たなビジネス展開を支援。

イベント名	開催期間	場所
Japan IT Week 秋 「IoTソリューション展」 ※	令和5年10月25日～27日	幕張メッセ
2023国際ロボット展	令和5年11月29日～12月2日	東京ビッグサイト

※令和5年春から「IoT&5Gソリューション展」から「IoTソリューション展」に名称変更



▲Japan IT Week(過去の出展の様子)



▲国際ロボット展(過去の出展の様子)



産・学・官の連携で
福岡県を半導体・デジタル産業の拠点へ

